

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-223-7236

年度	令和4年度		
施設名	新潟市児童センター	所管部・課	中央区健康福祉課
施設の設置目的	児童センターは児童に健全な遊びを与え、児童の健康及び体力の増進を図り、情操を豊かにすることにより、児童の健全育成に資することを目的とする施設です。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R4.6.30
歳入		正職員	1	修正日	
歳出		会計年度 任用職員	4	評価日	R5.3.31

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標				
1	市民	児童・乳幼児と保護者の来館者数の増加	1日平均来館者55人以上(単位:人)	75	34	45	55	47	子育て支援事業などの各種イベントの充実、丁寧な対応日々、月々、年間の統計	コロナ第7波、8波の発生により、学級閉鎖等があり、目標値に届かなかった。来館者は昨年度より増加した。	C:未達成
2	市民	申込制イベントの参加率の増加	申込制事業参加率70%以上のイベントが9割(単位:%)	76	97	76	80	96	ガイド(便り)の配付、近隣小学校・来館者への積極的な働きかけ	参加率70%のイベントは96%であった。市報やガイド(便り)、ネットを見て申し込みが多いが、職員からの働きかけで参加を決めることも多いので、今後も積極的に働きかけて	A:達成(優)
3	市民	来館者の満足度	アンケートによる児童センター満足度「とても満足」80%以上(単位:%)	80.0	78.0	86.0	80.0	84.0	来館者へのアンケートの実施	目標値を4ポイント上回った。アンケートでは「子どもと親に気を配ってくださるおかげで安心して楽しく遊ぶことができます。」という記述があった。来館者に寄り添った対応の成果で	B:達成
4	市民	利用促進のための広報の充実	職員による訪問PRを10回以上(単位:回)	13	9	11	10	7	子育て支援講座、就学時説明会、市内子育て支援施設への訪問広報活動	勤務体制と就学時説明会の日時が合わず、目標値に至らなかった。学校の年間行事予定をいただき、日程調整する	C:未達成
5	業務	災害及び、事件・事故発生時の対応強化による安全安心の確保	避難訓練の実施2回以上(単位:回)	2	2	2	2	2	防災・不審者対応避難訓練	万代市民会館の担当者と連携を取りながら、避難訓練を実施することができた。	B:達成
6	業務	学生ボランティアの確保	年間30人以上(単位:人)	142	22	50	30	10	大学・専門学校の学生ボランティア担当窓口への働きかけ	コロナ禍により遊びフェスティバル実施の中止、豆まき会は学生ボランティアを募集しなかったため、目標値に至らなかった	C:未達成
7	人材	地域組織活動グループとの連携	連携事業参加人数平均10人以上(単位:人)	25	9	9	10	10	連携・強化のための打合わせ・会議の設定	各イベント実施前後には、綿密な事前打合せと事後の振り返りを行った。	B:達成
8	人材	職員の自己改革や意識改革	研修会等へ職員の参加(平均1人2回 計10回以上)(単位:回)	16	26	33	20	20	研修会への積極的な参加 児童センター内研修	勤務体制と研修会の日時が合わないことがあった。そのため、目標値と同程度であった。	B:達成
9											
10											

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>新型コロナウイルス感染症予防対策に十分配慮して来館者の満足や確保に努めていきます。そして、職員自らの資質・指導力向上に努めるとともに、地域組織活動グループや小学校、他施設と連携し、事業の充実に努めます。また、日々の施設遊具の点検や遊びの見守りを確実にを行い、安心安全で健全な遊びの場を子どもたちに提供します。</p> <p>「楽しかった、また来たい。」という思いをもってもらえるよう、日々、利用者それぞれの状況に応じた言葉かけをし、心のこもった丁寧な対応をします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症第7波・8波の発生があったが、感染対策を万全にして、イベント等を実施した。来館者数は昨年度より増加している。特に、乳幼児とその保護者の来館者数が昨年度より増えた。感染症に対する保護者の方の意識が以前より変化し、外出意欲が高まってきたことが考えられる。また、利用者アンケートの結果から、来館者の満足度は高い。職員が来館者一人一人に寄り添った対応の成果であると考えられる。次年度も来館者の状況に応じた言葉かけや丁寧な対応を継続していく。一方、遊具の種類がもう少し増えるとよいという指摘があった。今年度も交付金により、乳幼児や子どもの喜びそうな玩具や滅菌装置を購入することができた。次年度も感染症対策を講じつつ、来館者が安全に安心して楽しめ、「また、来たい。」と感じる児童センターの運営に努めていく。</p>